

集中治療科

○ 集中治療科の概要

1. 集中治療科の特色

当科は集中治療を専門とした診療科として2014年に新設され、おもにICUでの重症患者、術後患者などの診療にあたる。現在はA棟4階ICU（おもに心臓外科術後患者）での診療業務が中心だが、他の病棟、診療科からの診療コンサルテーションなどにおいても随時対応している。

ICUでの診療は、呼吸管理、循環管理をはじめとして、中枢神経系、代謝系、血液凝固系、栄養管理など全身管理が特徴で、このような病態の治療には多くの職種、医療スタッフがかかわって進められている。多職種と連携してチーム医療を実践しつつ、これらの全身管理を学んでいく点が集中治療科の最大の特徴である。

2. 診療実績

A4階ICU患者、年間約600名。

3. 研修責任者と臨床研修指導医、上級医（指導者）

研修責任者：古田島 太（診療部長代行、教授）

臨床研修指導医：古田島 太、北村 晶（教授）

4. 臨床研修プログラムの特色

重症患者、術後患者などの全身管理を学ぶこと。

呼吸管理、循環管理、代謝管理などの基本を学ぶこと。

これらに必要な基礎的（生理学的、薬理的など）な知識、技術を身につけること。

5. 経験目標・到達目標

術後管理について理解する。

感染予防手技を実践できる。

人工呼吸管理について理解する。

酸素療法を実施できる。

循環作動薬の使い方を理解する。

ペースメーカー、IABP、PCPSなどの補助装置について理解する。

栄養管理を理解し、各種栄養投与を実施できる。

各種血液浄化法を理解する。

中枢神経系の評価を理解する。

到達目標と評価表（1ヶ月間研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 循環系パラメータ（動脈圧、肺動脈圧、CVP、心拍出量など）の評価ができる。	()	()
2. 血液ガス分析を実施し、評価ができる。	()	()
3. 適切な酸素療法ができる。	()	()
4. 各種換気モードの違いを説明できる。	()	()
5. 指導医のもとで人工呼吸器ウィーニング、抜管ができる。	()	()
6. 指導医のもとで循環作動薬の調節ができる。	()	()
7. 人工呼吸中の鎮痛・鎮静を実施できる。	()	()
8. 動脈カニューレを留置し、観血的血圧測定の特徴を理解できる。	()	()
9. 各種血液浄化法を理解できる。	()	()

到達目標と評価表（2ヶ月目以上研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 指導医のもとでCVカテーテル留置ができる。	()	()
2. 指導医のもとで人工呼吸器の設定調節ができる。	()	()
3. 指導医のもとでPAカテーテルの留置ができる。	()	()

4. 指導医のもとでFDLカテーテルの留置ができる。	()	()
5. 指導医のもとで気管挿管ができる。	()	()
6. ARDSを理解し、指導医のもとで基本的な呼吸管理ができる。	()	()
7. 敗血症性ショックを理解し、指導医のもとで国際ガイドラインに準拠した治療ができる。	()	()
8. PCPS, VASなどの動作を理解できる。	()	()
9. ペースメーカーの動作を理解できる。	()	()
10. 栄養評価を行い、指導医のもとで適切な栄養管理ができる。	()	()
11. 腎機能評価を行い、各種血液浄化法の適応を理解できる。	()	()

6. 週間スケジュール

	7:50	午前	午後
月	回診	病棟診療	病棟診療
火	回診	病棟診療	病棟診療 (*)
水	回診	病棟診療	病棟診療
木	回診	病棟診療	病棟診療 (*)
金	回診	病棟診療	病棟診療
土	回診	病棟診療	

* : RST（呼吸ケアチーム）の病棟回診に参加

7. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
 埼玉医科大学国際医療センター
 集中治療科 古田島 太（診療部長代行、教授）
 TEL：042-984-4111（代表）
 E-mail：kotajima@saitama-med.ac.jp